

平成23年度 一般会計補正予算説明資料

8款 土木費

4項 港湾費

3目 境港管理組合費

空港港湾課 (内線7405)

(単位:千円)

事業名	補正前	補正	計	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
境港管理組合負担金	2,027,644	37,352	2,064,996			<雑入> 34,765	2,587	
トータルコスト	2,034,833	37,352	2,072,185	(補正に係る主な業務内容)				
従事する職員数	0.9人	0.0人	0.9人	事業計画の承認、事業報告の確認、負担金通知、境港管理組合との調整				
工程表の政策目標(指標)	境港の物流拠点化(貨物取扱量 目標:平成26年度までに約489wt)							
<p>事業内容の説明</p> <p>1 事業の目的・概要 境港が日本海側拠点港として役割を果たすために必要な施策を取りまとめた「境港ゲートウェイプロジェクト」における「物流のゲートウェイ」を推進するため、ポートセールス専門員を配置する。</p> <p>2 主な事業内容 (1) 物流のゲートウェイの推進 (2,587千円) 新たな物流ルート、物流品目の拡大のためにポートセールス専門員を配置する。 配置の理由: セールス(企業交渉)に関する深い経験や知識、交渉術等が必要不可欠であり、港湾を利用した物流や流通に詳しく、セールスに秀でた専門員を配置し、迅速・的確・臨機応変な対応が可能な体制をとる。 雇用期間: 1年9か月(平成23年7月から平成25年3月末まで) 業務内容: 物流拡大のための新たなフェリー航路の可能性調査 国内フェリーの誘致による貨物量の増大及び国際フェリーとの連携による対岸貿易の拡大を目指すため、国内フェリー就航の可能性について、利用調査、採算検討等を行う。</p> <p>(2) その他の事業(34,765千円) 境港管理組合の運営に要する経費</p> <p>3 これまでの取組状況・改善点 これまで国に要望活動を行ってきた結果、境港が平成22年8月に「新規の直轄港湾整備事業の着手対象となる港湾」(いわゆる重点港湾)に選定され、また平成23年1月に総合静脈物流拠点港(リサイクルポート)に指定された。 今後、中国・韓国・ロシアなど対岸諸国の経済発展を我が国の成長に取り込むため、重点的な港湾施設整備等の支援が得られるよう、「日本海側拠点港」を目指していく。</p>								